

国土数值情報（発電所）

製品仕様書

第 1.0 版

平成 18 年 3 月

国土交通省国土計画局

目次

1 概覧.....	1
1.1 空間データ製品仕様書の作成情報.....	1
1.2 目的.....	1
1.3 適用範囲.....	1
1.4 引用規格.....	2
1.5 用語と定義.....	2
1.6 略語.....	2
1.7 参考資料.....	2
2 適用範囲.....	3
2.1 適用範囲識別.....	3
2.2 階層レベル.....	3
3 データ製品識別.....	4
3.1 製品仕様識別.....	4
4 データ内容および構造.....	5
4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書.....	5
4.1.1 国土数値情報パッケージ.....	5
4.1.2 国土数値情報応用スキーマパッケージ.....	6
4.1.3 国土数値情報データ集合パッケージ.....	7
4.1.4 施設パッケージ.....	10
4.1.5 発電所パッケージ.....	10
4.1.6 共通パッケージ.....	21
4.2 空間スキーマプロファイル.....	22
4.3 時間スキーマプロファイル.....	22
5 参照系.....	23
5.1 座標参照系.....	23
5.2 時間参照系.....	23
6 データ品質.....	24
7 データ製品配布.....	26
7.1 配布書式情報.....	26
7.2 配布媒体情報.....	26
8 メタデータ.....	27

1 概覧

1.1 空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名：国土数値情報（発電所）製品仕様書 第 1.0 版
- 日付：平成 18 年 3 月
- 作成者：国土交通省 国土計画局 総務課 国土情報整備室
- 言語：日本語
- 分野：構造物、公共事業・通信
- 文書書式：PDF

1.2 目的

本製品仕様書は、地理情報標準プロファイル（JPGIS）第 1.0 版に可能な限り準拠した国土数値情報データを構築することを目的とする。

なお、本製品仕様書の利用者は、国土数値情報データの作成者、及び従来の国土数値情報を地理情報標準プロファイルのデータ形式に変換するデータ作成者をおもな対象としている。

1.3 適用範囲

本製品仕様書が適用されるデータの適用範囲は以下のとおりである。

- 空間範囲
日本全国
- 時間範囲
1975年（昭和50年）～2006年（平成18年）

1.4 引用規格

本製品仕様書は以下の規格から引用する。

- 地理情報標準プロファイル（JPGIS）第 1.0 版 平成 17 年 3 月

1.5 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

- 地理情報標準プロファイル（JPGIS）第 1.0 版「附属書 5（規定） 定義」

1.6 略語

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

- JPGIS Japan Profile for Geographic Information Standards
- JMP Japan Metadata Profile
- UML Unified Modeling Language

1.7 参考資料

国土数値情報で使用されるコードリスト等については、以下のサイトを参照。

国土数値情報ダウンロードサービス（JPGIS 準拠データ）

URL : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

2 適用範囲

本製品仕様書の適用範囲は次のとおりとする。

2.1 適用範囲識別

国土数値情報（発電所）製品仕様書第 1.0 版適用範囲

2.2 階層レベル

データ集合

3 データ製品識別

3.1 製品仕様識別

本製品仕様書に基づくデータ製品の識別は、次のとおりとする。

■ 空間データ製品の名称

国土数値情報（発電所）データ

■ 日付

平成 18 年 3 月 24 日

■ 問合せ先

国土交通省 国土計画局 総務課 国土情報整備室

電話 : 03-5253-8111 FAX : 03-5253-1569

Email : nsdijp@mlit.go.jp

■ 地理記述

全国

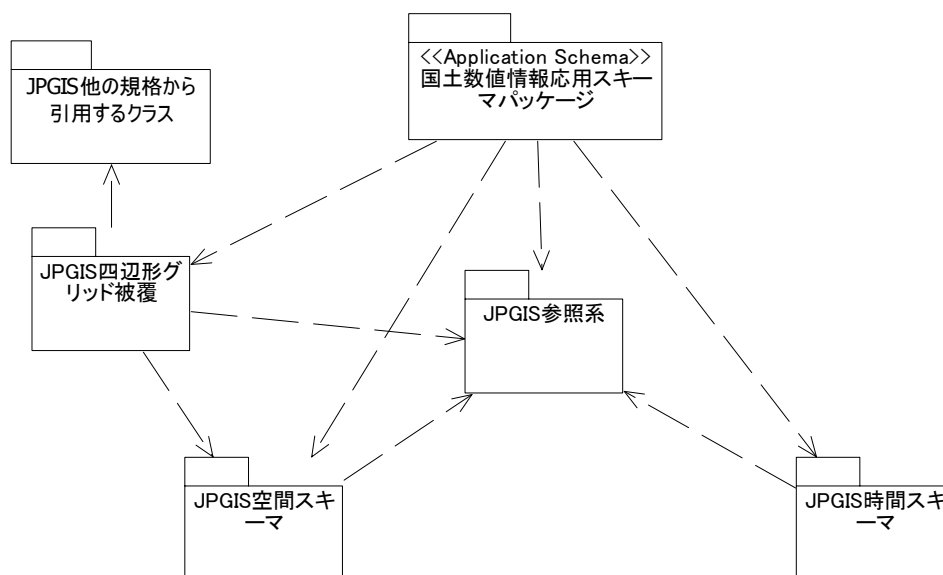
4 データ内容および構造

本章では、本製品仕様書が扱う国土数値情報に関する UML クラス図および定義文書を記す。

4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書

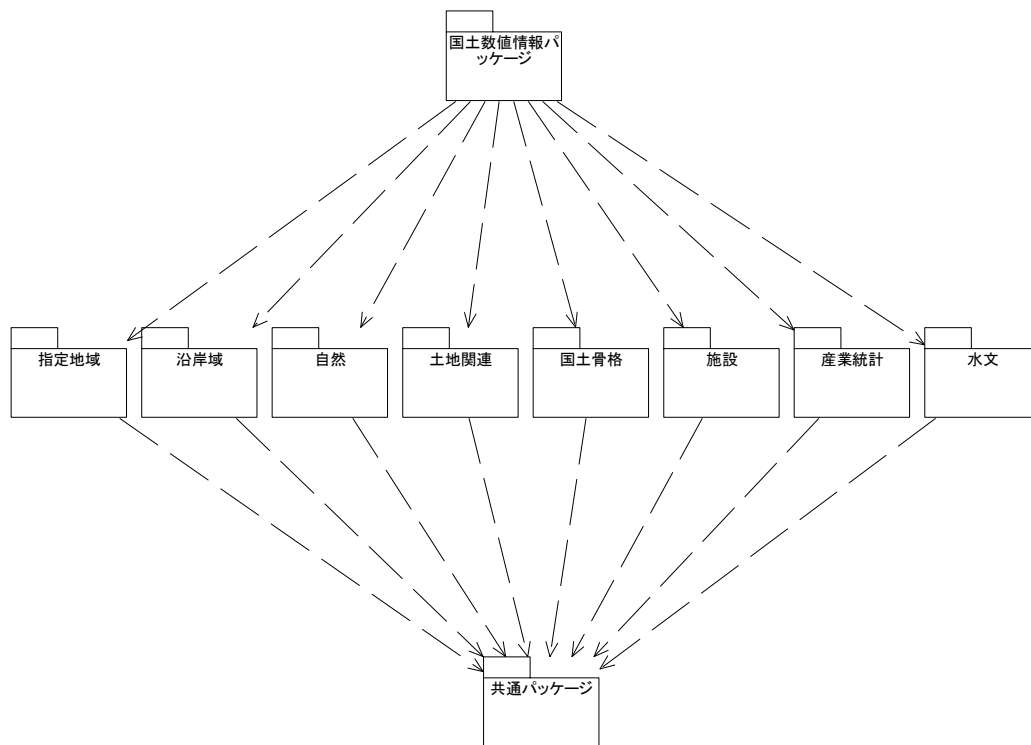
4.1.1 国土数値情報パッケージ

このパッケージは、国土数値情報のパッケージ構成をまとめたものである。国土数値情報応用スキーマで使用する JPGIS の型に関するパッケージと国土数値情報応用スキーマパッケージの依存関係を示す。



4.1.2 国土数値情報応用スキーマパッケージ

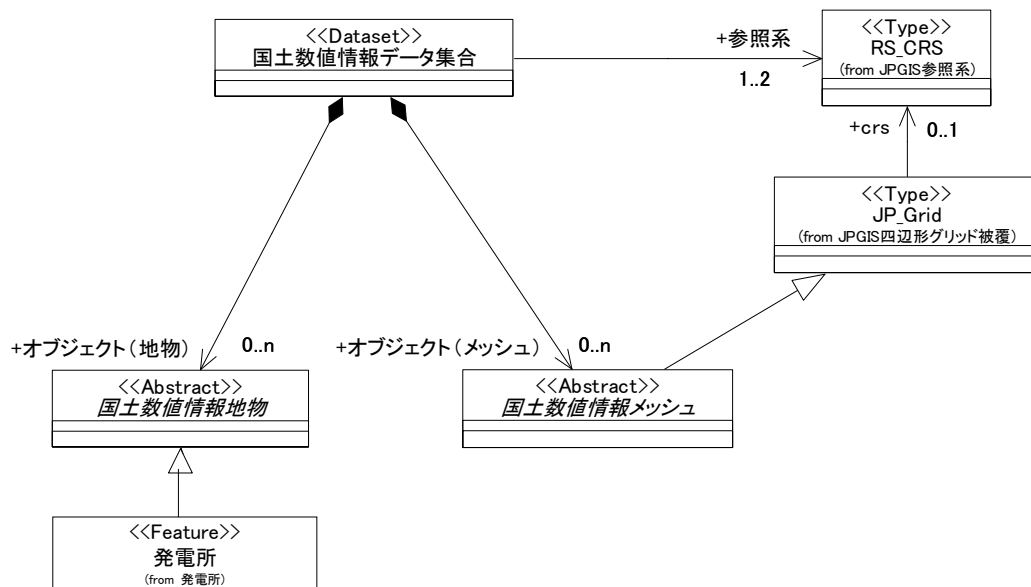
このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報データ集合パッケージおよび、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリストをまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物およびメッシュは、指定地域や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。



4.1.3 国土数値情報データ集合パッケージ

このパッケージは、国土数値情報データ応用スキーマに含まれる全ての地物およびメッシュをまとめたものである。

4.1.3.1 応用スキーマクラス図



4.1.3.2 応用スキーマ文書

国土数値情報データ集合

1 つ以上の国土数値情報地物あるいは国土数値情報メッシュから構成される国土数値情報のデータセット。

上位クラス：なし

抽象/具象区分：具象

関連役割：

参照系[1..2]：RS_CRS

座標参照系および時間参照系への参照。座標参照系については必ず記載する。

オブジェクト（地物）[0..n]：国土数値情報地物

国土数値情報データ集合を構成する国土数値情報地物。

オブジェクト（メッシュ）[0..n]：国土数値情報メッシュ

国土数値情報データ集合を構成する国土数値情報メッシュ。

国土数値情報地物

国土交通省国土計画局総務課国土情報整備室が提供する国土数値情報ベクトルデータ項目。

上位クラス：なし

抽象/具象区分：抽象

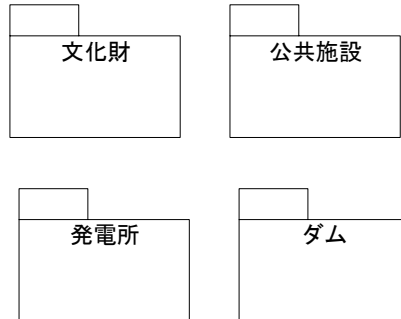
国土数値情報メッシュ

国土交通省国土計画局総務課国土情報整備室が提供する国土数値情報メッシュデータ項目。

上位クラス：JP_Grid

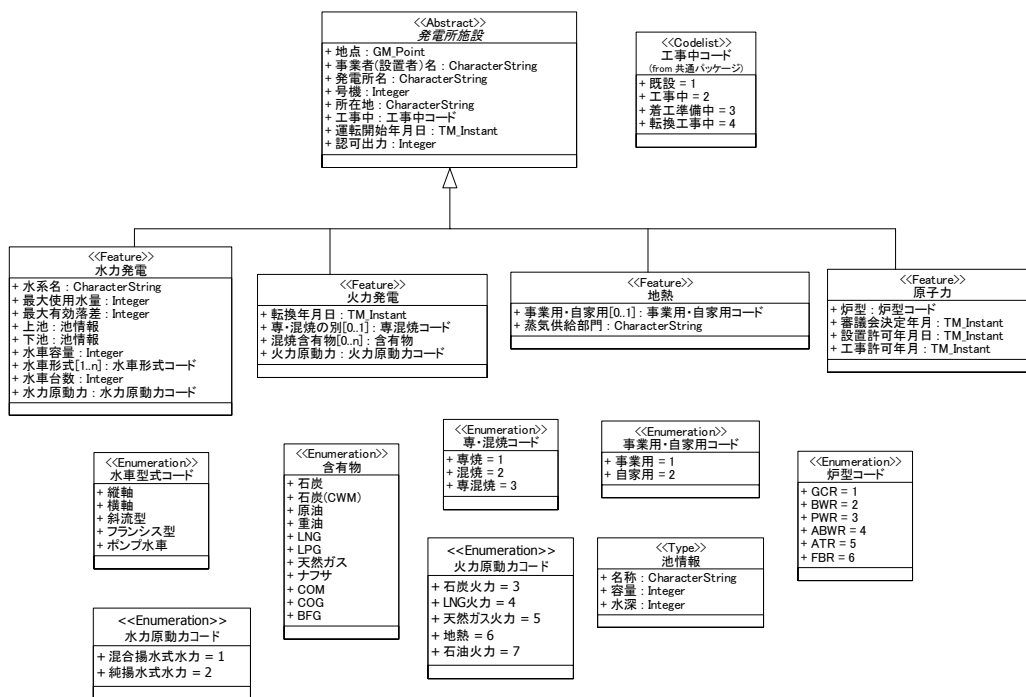
抽象/具象区分：抽象

4.1.4 施設パッケージ



4.1.5 発電所パッケージ

4.1.5.1 応用スキーマクラス図



4.1.5.2 応用スキーマ文書

発電所

□ 参考

原資料：電源開発要覧

上位クラス：国土数値情報地物

抽象/具象区分：具象

属性：

地点：GM_Point

発電所の位置。

事業者（設置者）名：CharacterString

当該発電所の設置又は運用をしている組織の名称。

発電所名：CharacterString

発電所の名称。

号機：Integer

所在地：CharacterString

工事中：工事中コード

発電所の工事の状態の区分。

■ 定義域

「工事中コード」がとりうる値。

➤ 参考：コードリスト「工事中コード」の内容

コード	対応する内容
1	既設
2	工事中
3	着工準備中
4	転換工事中

運転開始年月日 : **TM_Instant**

発電所の運転を開始した時期。

■ 定義域

西暦で、4桁の「年」、2桁の「月」及び「日」を記す。

また、既設でない場合は、予定の時期を記す。

認可出力 : **Integer**

単位は「0.01MW」とする。

水力発電

上位クラス発電所

抽象/具象区分 : 具象

属性 :

[上位型から継承する属性] 地点 : **GM_Point**

発電所の位置。

[上位型から継承する属性] 事業者（設置者）名 : **CharacterString**

当該発電所の設置又は運用をしている組織の名称。

[上位型から継承する属性] 発電所名 : **CharacterString**

発電所の名称。

[上位型から継承する属性] 号機 : **Integer**

[上位型から継承する属性] 所在地 : **CharacterString**

[上位型から継承する属性] 工事中 : 工事中コード

発電所の工事の状態の区分。

■ 定義域

「工事中コード」がとりうる値。

➤ 参考 : コードリスト「工事中コード」の内容

コード	対応する内容
1	既設
2	工事中
3	着工準備中
4	転換工事中

[上位型から継承する属性] 都道府県運転開始年月日 : TM_Instant

発電所の運転を開始した時期。

■ 定義域

西暦で、4桁の「年」、2桁の「月」及び「日」を記す。

また、既設でない場合は、予定の時期を記す。

[上位型から継承する属性] 都道府県認可出力 : Integer

単位は「0.01MW」とする。

水系名 : CharacterString

最大使用水量 : Integer

単位は「0.01m/s」とする。

最大有効落差 : Integer

単位は「0.01m」とする。

上池 : 池情報

下池 : 池情報

水車容量 : Integer

単位は「kw」とする。

水車型式[1..n]：水車型式

水車の型による区別。

■ 定義域

以下のいずれか。

水車型式
縦軸
横軸
斜流型
フランシス型
ポンプ水車

水車台数：Integer

水車の数。

水力原動力：水力原動力コード

水力発電所の原動力の種類による区分。

■ 定義域

1、2のいずれか。

1～2は以下を参照。

コード	対応する内容
1	混合揚水式水力
2	純揚水式水力

池情報

抽象/具象区分：具象

属性：

名称：CharacterString

容量：Integer

単位は「1000m3」とする。

水深：Integer

単位は「0.01m」とする。

火力発電

上位クラス : 発電所

抽象/具象区分 : 具象

属性 :

[上位型から継承する属性] 地点 : GM_Point

発電所の位置。

[上位型から継承する属性] 事業者（設置者）名 : CharacterString

当該発電所の設置又は運用をしている組織の名称。

[上位型から継承する属性] 発電所名 : CharacterString

発電所の名称。

[上位型から継承する属性] 号機 : Integer

[上位型から継承する属性] 所在地 : CharacterString

[上位型から継承する属性] 工事中 : 工事中コード

発電所の工事の状態の区分。

■ 定義域

「工事中コード」がとりうる値。

➤ 参考 : コードリスト「工事中コード」の内容

コード	対応する内容
1	既設
2	工事中
3	着工準備中
4	転換工事中

[上位型から継承する属性] 運転開始年月日 : TM_Instant

発電所の運転を開始した時期。

■ 定義域

西暦で、4桁の「年」、2桁の「月」及び「日」を記す。

また、既設でない場合は、予定の時期を記す。

[上位型から継承する属性] 認可出力 : Integer

単位は「0.01MW」とする。

転換年月日 : TM_Instant

専・混焼の別[0..1] : 専混焼コード

専焼か混焼の区別。

■ 定義域

1、2、3のいずれか。

1～3は以下を参照。

コード	対応する内容
1	専焼
2	混焼
3	専混焼

混焼含有物[0..n] : 含有物

混焼の場合に含む物質。

■ 定義域

以下のいずれか。

含有物
石炭
石炭 (CWM)
原油
重油
LNG
LPG
天然ガス

ナフサ
COM
COG
BFG

火力原動力：火力原動力コード

火力発電所の原動力の種類による区分。

■ 定義域

3、4、5、6、7のいずれか。

3～7は以下を参照。

コード	対応する内容
3	石炭火力
4	LNG 火力
5	天然ガス火力
6	地熱
7	石油火力

地熱

上位クラス：発電所

抽象/具象区分：具象

属性：

[上位型から継承する属性] 地点：GM_Point

発電所の位置。

[上位型から継承する属性] 事業者（設置者）名：CharacterString

当該発電所の設置又は運用をしている組織の名称。

[上位型から継承する属性] 発電所名：CharacterString

発電所の名称。

[上位型から継承する属性] 号機 : Integer

[上位型から継承する属性] 所在地 : CharacterString

[上位型から継承する属性] 工事中 : 工事中コード

発電所の工事の状態の区分。

■ 定義域

「工事中コード」がとりうる値。

➤ 参考 : コードリスト「工事中コード」の内容

コード	対応する内容
1	既設
2	工事中
3	着工準備中
4	転換工事中

[上位型から継承する属性] 運転開始年月日 : TM_Instant

発電所の運転を開始した時期。

■ 定義域

西暦で、4桁の「年」、2桁の「月」及び「日」を記す。

また、既設でない場合は、予定の時期を記す。

[上位型から継承する属性] 認可出力 : Integer

単位は「0.01MW」とする。

事業用・自家用[0..1] : 事業用・自家用コード

事業用か自家用かの区別。

■ 定義域

1、2のいずれか。

1~2は以下を参照。

コード	対応する内容
1	事業用
2	自家用

蒸気供給部門 : CharacterString

上位クラス : 発電所

抽象/具象区分 : 具象

属性 :

[上位型から継承する属性] 地点 : GM_Point

発電所の位置。

[上位型から継承する属性] 事業者（設置者）名 : **CharacterString**

当該発電所の設置又は運用をしている組織の名称。

[上位型から継承する属性] 発電所名 : **CharacterString**

発電所の名称。

[上位型から継承する属性] 号機 : **Integer**

[上位型から継承する属性] 所在地 : **CharacterString**

[上位型から継承する属性] 工事中 : 工事中コード

発電所の工事の状態の区分。

■ 定義域

「工事中コード」がとりうる値。

➤ 参考 : コードリスト「工事中コード」の内容

コード	対応する内容
1	既設
2	工事中
3	着工準備中
4	転換工事中

[上位型から継承する属性] 運転開始年月日 : TM_Instant

発電所の運転を開始した時期。

■ 定義域

西暦で、4桁の「年」、2桁の「月」及び「日」を記す。

また、既設でない場合は、予定の時期を記す。

[上位型から継承する属性] 認可出力 : Integer

単位は「0.01MW」とする。

炉型 : 炉型コード

炉の型の種類による区分。

■ 定義域

1、2、3、4、5、6のいずれか。

1~6は以下を参照。

コード	対応する内容
1	GCR
2	BWR
3	PWR
4	ABWR
5	ATR
6	FBR

審議会決定年月 : TM_Instant

電源開発調整審議会による決定の時期。

■ 定義域

西暦で、4桁の「年」、2桁の「月」及び「日」を記す。

設置許可年月日 : TM_Instant

原子炉設置許可の時期。

■ 定義域

西暦で、4桁の「年」、2桁の「月」及び「日」を記す。

工事認可年月 : TM_Instant

第一回工事計画認可の時期。

■ 定義域

西暦で、4桁の「年」、2桁の「月」及び「日」を記す。

4.1.6 共通パッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリストをまとめたものである。

コードリストについては、本製品仕様書「1.7 参考資料」の参照先を参照。

なお、発電所パッケージで使用するコードリストは以下である。

- ・ 工事中コード

4.2 空間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 1.0 版 空間スキーマ」を採用する。

4.3 時間スキーマプロファイル

国土数値情報の時間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 1.0 版 時間スキーマ」を採用する。

5 参照系

5.1 座標参照系

参照系識別子 : TD / (B, L)

5.2 時間参照系

参照系識別子 : GC / JST

6 データ品質

品質要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	パッケージごと
データ品質評価尺度	データ集合中の過剰データがないか。
データ品質評価手法	抜取検査を実施する。 データ集合の地物の員数を、変換前データと比較し、過剰を評価する。
適合品質水準	過剰なデータの割合：0%（抜取り試料に対して）

品質要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	パッケージごと
データ品質評価尺度	データ集合からのデータの欠落がないか。
データ品質評価手法	抜取検査を実施する。 データ集合の地物の員数を、変換前データと比較し、洩れを評価する。ただし、データ変換時に変換エラーのため欠落したデータについては、評価の対象としない。
適合品質水準	過剰なデータの割合：0%（抜取り試料に対して）

品質要素	論理一貫性・概念一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	応用スキーマで決められた地物を逸脱した地物がないか、また、地物同士の関係が応用スキーマと矛盾しないか。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 論理検査プログラム（XML パーサなど）によって、XML Schema とデータ集合に矛盾がないか、評価する。
適合品質水準	100%

品質要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	地物属性の値が決められた定義域の中にあるか。空間属性及び時間属性は、それぞれ規定された範囲にあるか。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 論理検査プログラムによって、主題属性の定義域及び地物の地理的範囲、時間的範囲が定義域の中にあるか、評価する。
適合品質水準	100%

品質要素	論理一貫性・書式一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合のファイル形式が XML の仕様に適合しているか。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 論理検査プログラム (XML パーサなど) によって、データ集合のファイル仕様が XML の文法に適合しているか、評価する。
適合品質水準	100%

7 データ製品配布

7.1 配布書式情報

■ 書式名称

JPGIS 第 1.0 版 附属書 8 (参考) XML に基づく符号化規則

■ 符号化仕様

国土数値情報応用スキーマの XML Schema は、JPGIS 第 1.0 版 附属書 8 の符号化規則に従う。また、国土数値情報応用スキーマが参照する基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等の標準スキーマの XML Schema は、JPGIS 附属書 8 に掲載されている XML Schema を採用する。

国土数値情報の符号化のためのタグ一覧及び符号化仕様は、「別冊 符号化仕様」を参照されたい。

■ 文字集合

UTF-8

■ 言語

日本語

7.2 配布媒体情報

■ 単位

都道府県

■ 媒体名

下記サイトよりダウンロード。下記サイトでは、国土数値情報を無償で一般公開している。

国土数値情報ダウンロードサービス (JPGIS 準拠データ)

URL : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

8 メタデータ

本製品仕様書のメタデータは、JMP2.0を採用する。